

～Market Report:2012-2013 年忘新年会概況～

- 忘年会・新年会の参加予定回数は「昨年と変わらない」が最多の74.2%
- 忘年会・新年会予算は、3000円台と5000円台の2極化の傾向が続く

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：富塚優）に設置された食に関する調査・研究、地域振興機関「ホットペッパーグルメリサーチセンター」（センター長：竹田 邦弘）は、2012-2013年の忘年会、新年会動向を、以下の通り発表いたします。

結果サマリー

- 調査時期：2012年11月1日（木）～11月7日（水）
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：首都圏、関西圏、東海圏に住む20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- 有効回答数：9,478件（首都圏4,755件、関西圏2,302件、東海圏2,421件）

◆2012-13年の忘新年会への参加回数は、昨年並みか微減の予想

<忘新年会の参加回数の見込み>

- 3圏域平均：増加計11.5%、前年並74.2%、減少計14.3%
- 首都圏：増加計11.7%、前年並73.4%、減少計15.0%
- 関西圏：増加計11.9%、前年並74.7%、減少計13.3%
- 東海圏：増加計10.1%、前年並76.1%、減少計13.9%

<参考：2011-12年の忘新年会への参加回数実績>

- 3圏域計：忘年会平均1.4回／新年会平均0.8回
- 首都圏：忘年会平均1.4回／新年会平均0.8回
- 関西圏：忘年会平均1.3回／新年会平均0.7回
- 東海圏：忘年会平均1.2回／新年平均0.6回

参加回数の見込みで「昨年並み」が首都圏・関西圏・東海圏の3圏域の合計で74.2%と最多であった。圏域別の首都圏では「大きく減りそう」と「やや減りそう」の合計の「減少派」が3圏域中もっとも多く（15.0%）、逆に関西圏では「大きく増えそう」+「やや増えそう」の合計の「増加派」が3圏域中最も多い（11.9%）と“西高東低”の状況であった。

◆忘新年会希望予算は、3000円台と5000円台の2極化傾向が続く。節約志向も？

<2012-13年忘新年会の希望金額>

- 2000円～3000円未満：6.6%
- 3000円～4000円未満：30.0%
- 4000円～5000円未満：14.8%
- 5000円～6000円未満：27.6%
- 6000円～7000円未満：2.7%

<2011-12年忘新年会の支出実績金額> ※3圏域計、一回あたり

- 2000円～3000円未満：5.0%
- 3000円～4000円未満：24.9%
- 4000円～5000円未満：20.0%
- 5000円～6000円未満：32.2%
- 6000円～7000円未満：4.9%

忘新年会予算では、一回あたり3000円～4000円未満と5000円～6000円未満のふたつの山があり、2極化している。今年度の希望額は、前年度実績に比べ、どの圏域でも4000円～5000円未満および5000円～6000円未満という回答が減っているのに対し、最多の希望額が3000円～4000円未満となり「節約」志向も見てとれる。

◆2012-13年の忘新年会の機会は、「友人・知人関係」「家族・親族関係」が増加傾向

<2012-13年忘新年会の参加予定機会の関係>

- 友人・知人関係：47.0%
- 家族・親族関係：19.2%
- 会社・仕事関係：44.3%

<2011-12年忘新年会に参加した機会の関係> ※3圏域計

- 友人・知人関係：40.5%
- 家族・親族関係：15.3%
- 会社・仕事関係：44.2%

3圏域のうち、東海圏だけが「会社・仕事関係（今年度予定43.5%）」が「友人・知人関係（今年度予定42.5%）」を僅かながら上回った。東海圏では、「家族・親族関係」「趣味・サークルの関係」の前年度実績・今年度予定とも相対的にほかの地域より低く、“業務寄り”の忘新年会機会が多いのが特徴的である。

▼『HOT PEPPERグルメリサーチセンター Market Report:2012-2013 年忘新年会概況』詳細はこちら
<http://grc.hotpepper.jp/research/2012/12/20122013-41aa.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>